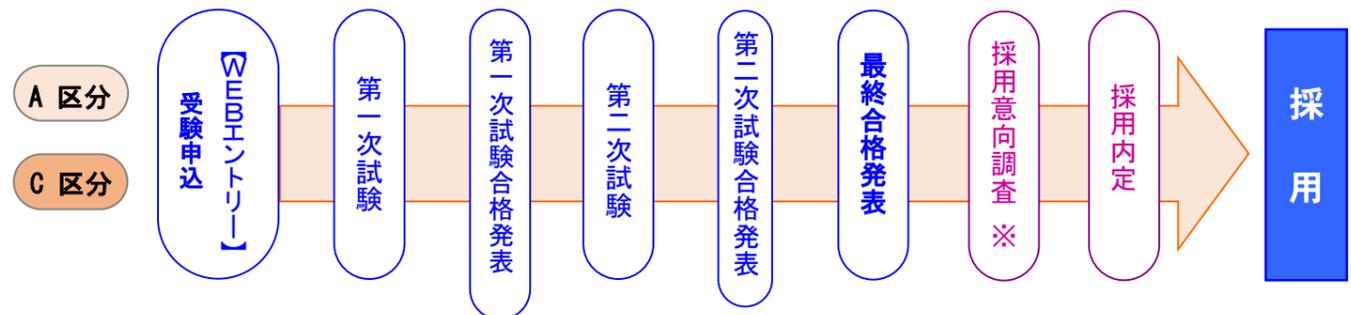


採用試験の概要

試験	A区分 (22~30歳)	試験	C区分 (22~61歳) (民間企業等経験2年以上)	受験資格
申込	◆1回目: 4月中旬~5月中旬 ◆2回目: 7月中旬~8月中旬 ●試験日: 1回目 6月中旬 2回目 9月下旬	申込	◆7月中旬~8月中旬 ●試験日: 9月下旬	左の表に示した年齢や職務経験のほか、それぞれの試験区分で以下の要件を満たす必要があります。
第一次	○職務基礎力試験 [択一式による筆記試験] 社会事情、文章理解、長文解読、言葉の用法、 数的理解、論理的理解、資料理解 ○専門試験 [択一式による筆記試験] 水産事情・水産経済・水産法規、水産環境科学、 水産生物学、水産資源学、漁業学、増養殖学、 水産化学、水産利用学 ○適性検査	第一次	○専門試験 [択一式による筆記試験] 資源管理、増養殖、水産経営・流通、漁場環境保全 ○適性検査	※普及職員(水産)A 大学(短期大学を除く)若しくは水産大学校において水産業、生物、化学、食品製造、機械、電気、機関、電気通信、経済若しくは経営に関する正規の課程を修めて卒業した方または2026年3月31日までに卒業見込みの方
第二次	◆第1次合格発表: 1回目 6月下旬 2回目 10月中旬 ●試験日: 1回目 7月上旬~7月中旬 2回目 10月下旬~11月上旬 ○人物試験 個別面接	第二次	◆第1次合格発表: 10月中旬 ●試験日: 11月上旬 ○人物試験 個別面接	※普及職員(水産)C 大学(短期大学を除く)若しくは水産大学校において水産業、生物、化学、食品製造、機械、電気、機関、電気通信、経済若しくは経営に関する正規の課程を修めて卒業した方または2026年3月31日までに卒業見込みの方又は水産業普及指導員資格を有している方若しくは水産業普及指導員資格試験の受験資格を有している方
合格発表	◆1回目: 7月下旬 ◆2回目: 11月下旬	合格発表	◆11月下旬	

※ 試験日程や受験資格等の詳細は、人事委員会のHPをご確認下さい

採用試験までの流れ



※ A区分合格者は、大学院進学を希望する場合、採用を延長(最大2年度)することができます。

給与・勤務条件等

初任給	A区分: 大学新卒 (220,000円) C区分: 民間経験 (例: 31歳で職務経験9年の場合 277,400円 ※学歴や経歴を基に決定。)
諸手当	期末手当・勤勉手当、通勤手当、住居手当、扶養手当、寒冷地手当など
年休	1年に20日間(4/1新規採用の年は15日間)、20日を限度に翌年に繰り越すことができます。
住宅	職員住宅、独身寮が整備されています。

水産業普及指導員の資格について

- 大学新卒の場合、普及職員として採用され、水産技術普及指導所で2年間の実務経験を積んだ後、国家資格である水産業普及指導員の受験資格を得られます。
- 水産業普及指導員の資格を取得すると、普及指導手当(給料月額12%)が支給されます。

お問い合わせ先

◆職員採用試験に関すること
北海道人事委員会事務局任用課
札幌市中央区北3条西7丁目 道庁別館11階
電話:011-204-5654

こちらへアクセス

◆普及職員(水産)の仕事に関すること
北海道水産林務部成長産業課普及指導員
札幌市中央区北3条西6丁目 道庁本館11階
電話:011-206-6081

▶ホームページは 検索

※QRコードは株式会社デンソーウェブの登録商標です

水産技術普及指導所のインスタアカウントを開設しました。
アカウント名: Info 北海道水産指導所

北海道の広大な海が
仕事場です!
~普及職員(水産)のご案内~



指導所の所在地



水産林務部成長産業課

総合振興局・振興局

首席普及指導員 1名
主任普及指導員 1名

- 普及活動の統括管理
- 施策の企画立案参画

総括普及指導員 6名
主任普及指導員 6名

- 海域内の普及活動の統括管理・広域課題

水産技術普及指導所
設置数 24箇所
(本所14+支所10)

- 普及活動計画の決定
- 指導所の運営管理
- 研究成果等の普及指導
- 地域振興政策の支援

各指導所に在勤

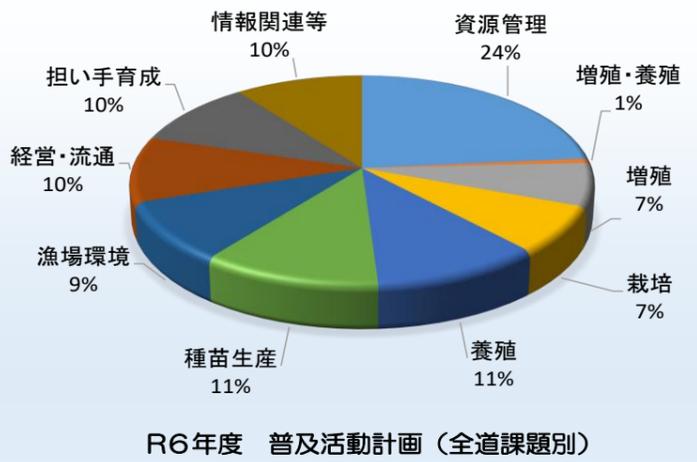
北海道では、沿岸を6海域に区分し沿海24カ所（本所・支所の合計）に水産技術普及指導所を配置しています。
 広い北海道では、海域によって漁業対象の魚種が異なりますが、普及指導員はそれらに対応し、地域に根ざした普及活動を行っています。
 ※郡部にも職場があり、概ね3～5年ごとに異動（転勤）があります。

全道の活動課題

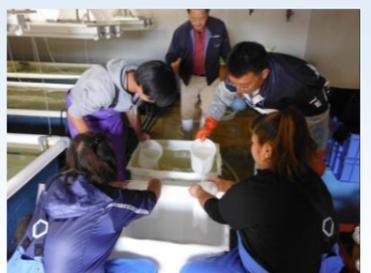
水産技術普及指導所では、毎年、魚種や内容別に普及活動計画を作成しています。

課題別では、資源管理、増殖や養殖に関する課題が多くなっています。

その他、漁場環境や担い手育成など様々な活動があり、自分の得意分野で活躍できます。



ホタテガイ育成調査



マコブ採苗



ホッキガイ資源調査

先輩職員から・・・

令和3年度採用
 宗谷総合振興局宗谷地区水産技術普及指導所
 普及指導員 柴崎 翔大



普及員を目指した理由（きっかけ）

学生時代の研究やサークルを通して、漁業関係者と接する機会に恵まれ、水産の現場で直接仕事をすることに興味を持つようになりました。就職活動では①調査・研究に関係した仕事。②技術を使い現場に寄り添う仕事。③北の海に行きたい。これらを基軸に調べたところ、普及員に行き着きました。

業務内容

ホッキガイ資源管理に係わる資源量調査や操業日誌調査、ナマコ資源増殖のための種苗生産技術指導、漁協の調査船に乗船して行うホタテガイ資源量調査の支援や沿岸水温情報の取りまとめなどを行っています。

普及員を目指す方々へ

普及員は各地の現場に合った方法で漁業者等と一緒に問題解決に取り組みます。また、漁業現場に頻繁に出るため、現場の情報を水産試験場や行政と共有するパイプ役になることも重要です。そのため人との関わりも大切になります。道ホームページや大学OB・OG、公式インスタなどを通して情報を集めてもらえたらと思います。

〈経歴〉
 R3.4.1～
 宗谷総合振興局
 宗谷地区水産技術普及指導所
 (所在地: 稚内市)

休日の過ごし方

野生動物の観察と写真撮影をするため、道内を走り回っていることが多いです。天売島等での野鳥観察や道東でキャンプをしながら動物や星の撮影をするなど一年を通じて遊んでいます。また、宗谷振興局は若い人が多く、他課の職員ともボードゲームやTRPGで遊び交流しています。

令和3年度採用
 後志総合振興局後志地区水産技術普及指導所岩内支所
 普及指導員 坂口 海渡



普及員を目指した理由（きっかけ）

水産関係の仕事に興味があり、就職を意識した頃に研究室の先生から普及員を勧められたのがきっかけです。調べていくうちに、実際に浜に出て漁業者と一緒に仕事を行い、現場に最も近く関わることが出来ることにとても魅力を感じ普及員を目指しました。

業務内容

主にホタテガイに関する業務を担当し、成熟状況や産卵時期、浮遊幼生の出現状況などの調査を行っています。また、沿岸で観測した水温情報も漁業者に提供しています。その他、小学校に出向いて水産学習を行うなど様々な業務があります。

普及員を目指す方々へ

普及員は漁業者や地域の方々とのつながりが強く、水産業界の発展のため最も漁業現場に近く関われる仕事です。また、全道各地の様々な魚種に関わる事が出来るのはもちろんのこと、北海道の自然に触れられる魅力がたくさん詰まっています。このような仕事に興味がある方は、ぜひ一緒に仕事をしましょう。

〈経歴〉
 R3.4.1～
 後志総合振興局
 後志地区水産技術普及指導所岩内支所
 (所在地: 岩内町)

休日の過ごし方

温泉に行ったり、カフェ巡りなどを行っています。まとまった休暇が取れたときには、他県に旅行に行き色々な場所を観光しています。